

II-1 訪日外国人の旅行動向

■ 2016年の訪日旅行の概況
 旅行消費額3兆7,476億円と過去最高
 訪日外客数増が寄与、旅行消費単価は減少

(1) 訪日外客数の動向

日本政府観光局（JNTO）によると、16年の訪日外客数は2,404万人（前年比21.8%増）となった。人数は過去最高を記録したが、伸び率は15年（15/14年比47.1%増）に比べてやや鈍化した（図II-1-1）。

16年において訪日外客数が増加した主因は、前年に引き続き近隣アジアからの訪日外客数の増加である。出発国・地域（以下、出発国）別では前年比27.6%の伸びを見せた中国の寄与度が大きい、その伸び率は15年（15/14年比107.3%増）に比べると鈍化している。中国に次いで韓国や台湾の寄与度も大きい、中国と同様に伸び率は鈍化しており、16年以降の円高基調が影響したものと推測される。

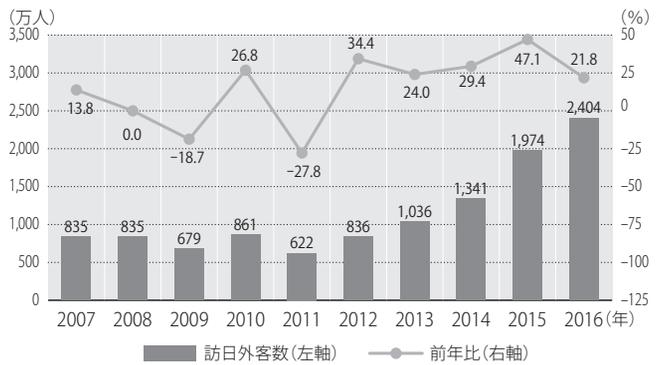
前年からの伸び率が高かった地域は東南アジアである。特にマレーシアやインドネシア、フィリピンで前年比30%程度増加した。

このほか、全ての主要出発国において、訪日外客数が前年を上回った（表II-1-1）。

(2) 客層の変化（図II-1-2）

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、ここ5年間は観光・レジャー目的客の割合が増加傾向にあり、16年は同割合が7割を超えた。なお、訪日外客数全体が大幅に増加しており、ビジ

図II-1-1 訪日外客数の推移



資料：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」

表II-1-1 2016年における訪日外客数と訪日外国人旅行消費額

2016年	訪日外客数 (人)	訪日外客数			1人当たり旅行支出 (円/人)	前年比 (%)	訪日外国人旅行消費額			
		シェア (%)	前年比 (%)	寄与度 (%)			訪日外国人旅行消費額 (億円)	シェア (%)	前年比 (%)	寄与度 (%)
訪日外国人全体	24,039,700	100.0	21.8	21.8	155,896	△ 11.5	37,476	100.0	7.8	9.1
韓国	5,090,302	21.2	27.2	5.5	70,281	△ 6.5	3,577	9.5	18.9	1.6
台湾	4,167,512	17.3	13.3	2.5	125,854	△ 11.1	5,245	14.0	0.7	0.1
香港	1,839,193	7.7	20.7	1.6	160,230	△ 7.0	2,947	7.9	12.2	0.9
中国	6,373,564	26.5	27.6	7.0	231,504	△ 18.4	14,754	39.4	4.1	1.7
タイ	901,525	3.8	13.2	0.5	127,583	△ 15.3	1,150	3.1	△ 4.2	△ 0.1
シンガポール	361,807	1.5	17.2	0.3	163,210	△ 12.9	591	1.6	2.1	0.0
マレーシア	394,268	1.6	29.1	0.5	132,353	△ 12.0	522	1.4	13.6	0.2
インドネシア	271,014	1.1	32.1	0.3	136,619	△ 7.2	370	1.0	22.7	0.2
フィリピン	347,861	1.4	29.6	0.4	112,228	△ 11.3	390	1.0	14.9	0.1
ベトナム	233,763	1.0	26.1	0.2	186,138	△ 4.5	435	1.2	20.5	0.2
インド	122,939	0.5	19.3	0.1	144,275	△ 2.7	177	0.5	16.1	0.1
英国	292,458	1.2	13.1	0.2	181,795	△ 13.7	532	1.4	△ 2.4	△ 0.0
ドイツ	183,288	0.8	12.7	0.1	171,009	△ 0.0	313	0.8	12.7	0.1
フランス	253,449	1.1	18.3	0.2	189,006	△ 9.7	479	1.3	6.8	0.1
イタリア	119,251	0.5	15.6	0.1	198,000	△ 2.0	236	0.6	13.2	0.1
スペイン	91,849	0.4	19.0	0.1	224,072	△ 1.4	206	0.5	17.3	0.1
ロシア	54,839	0.2	0.9	0.0	190,874	4.6	105	0.3	5.5	0.0
米国	1,242,719	5.2	20.3	1.1	171,418	△ 2.4	2,130	5.7	17.4	0.9
カナダ	273,213	1.1	18.1	0.2	154,977	△ 9.2	423	1.1	7.2	0.1
オーストラリア	445,332	1.9	18.4	0.4	246,866	6.7	1,099	2.9	26.3	0.7
その他	979,554	4.1	14.4	0.6	183,083	2.8	1,794	4.8	17.5	2.0

(注) 訪日外客数は確定値を使用している。

資料：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」

■ 上位3カ国・地域

ネス目的客も人数では増加している。

訪日経験回数は、13年から15年にかけて1回目の割合が増加傾向にあったが、16年は訪日経験回数の構成比に大きな変化は見られない。

旅行手配方法では12年以降、パッケージ利用率が増加傾向にあったが、15年から16年にかけては個別手配率が増加している。

(3) 旅行支出の動向

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、16年の訪日外国人旅行消費額は3兆7,476億円（前年比7.8%増）であり、過去最高を記録した。1人当たり旅行支出は15.59万円で前年比11.5%の減少となったが、訪日外客数が大きく増加したことで旅行消費額増につながった（図Ⅱ-1-3）。

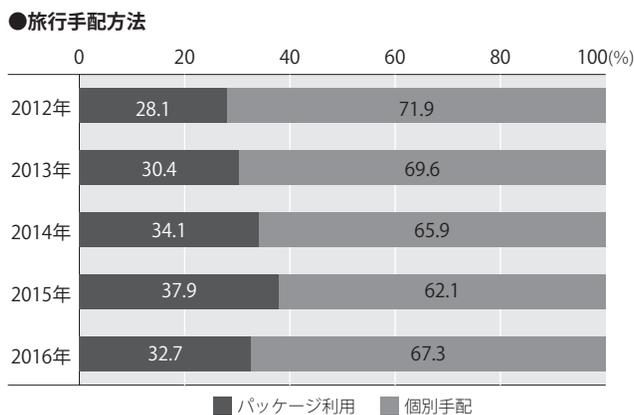
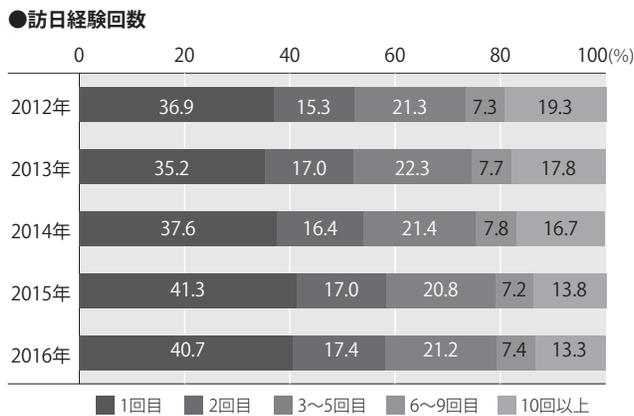
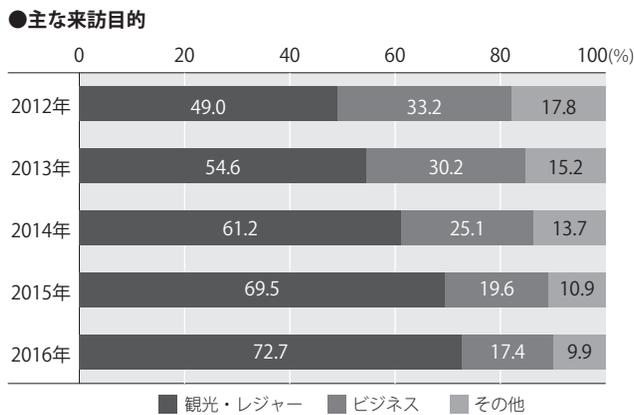
1人当たり旅行支出を費目別に見ると、16年は買物代が前年に比べ大きく減少した。特にカメラ・時計や電気製品、服・かばん・靴など、消耗品以外の支出が減少している（図Ⅱ-1-5）。要因としては、中国人による買物代の減少が大きい。16年の円高基調や、16年4月の関税引き上げ、越境EC（電子商取引）の利用増などが影響したものと見られる。

(4) 日本人海外旅行との対比

15年に引き続き、外国人の訪日旅行（インバウンド旅行）が日本人の海外旅行（アウトバウンド旅行）を人数、国際収支ともに上回る状況が続いている。

過去10年の旅行者数の推移を見ると、日本人の海外旅行者数に相当する「日本人出国者数（法務省「出入国管理統計」）は1,500万～2,000万人の間で推移している。一方で、訪日外国人

図Ⅱ-1-2 訪日外国人の客層変化



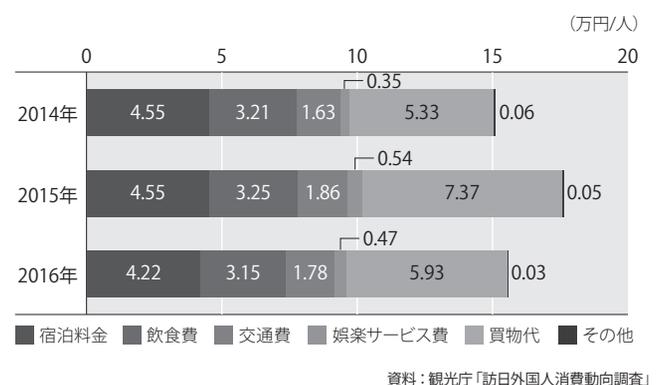
資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図Ⅱ-1-3 訪日外国人旅行消費額の推移



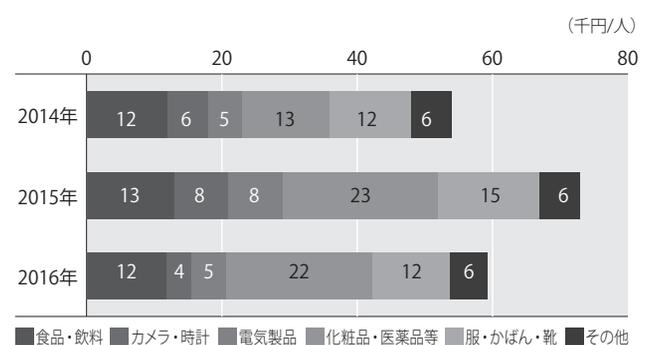
資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図Ⅱ-1-4 費目別に見る訪日外国人1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図Ⅱ-1-5 費目別に見る訪日外国人1人当たり買物代



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとに（公財）日本交通公社作成

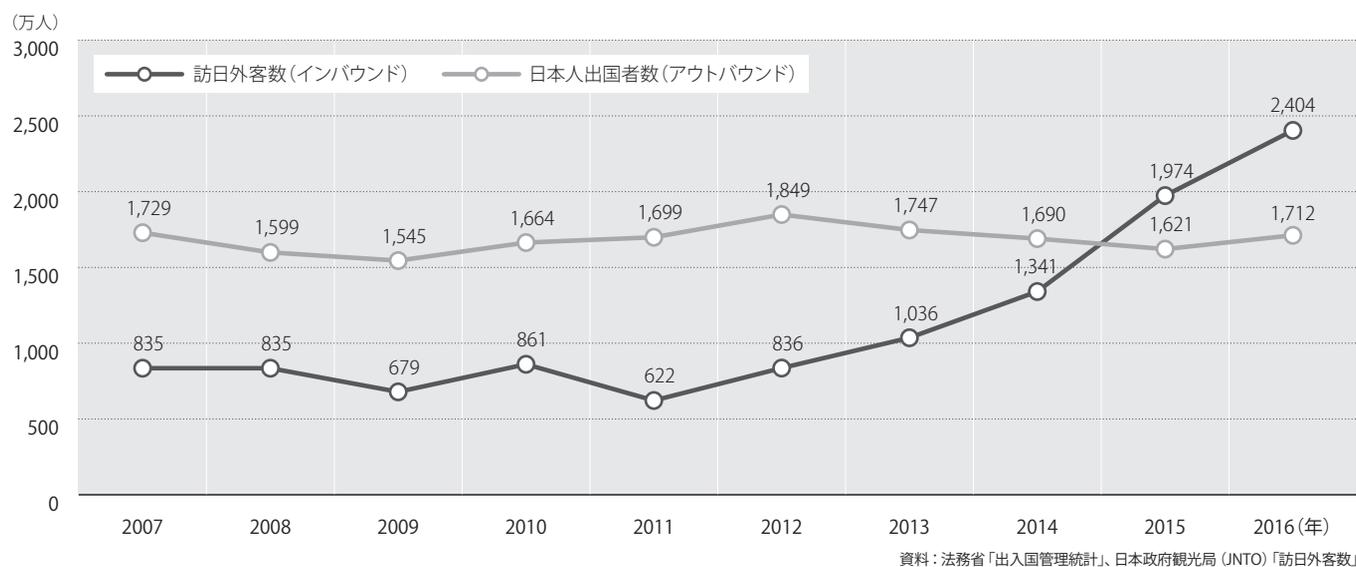
旅行者数に相当する「訪日外客数」(日本政府観光局)は11年を底に増加基調となり、15年に日本人の海外旅行者数を上回る結果となった。16年はさらに差を広げ、日本人出国者数より訪日外客数がおおよそ700万人多い状況となっている(図Ⅱ-1-6)。

人の動きだけでなく、経済取引の面でも同様の動きが見られる。財務省・日本銀行「国際収支統計」によると、10年前の07年

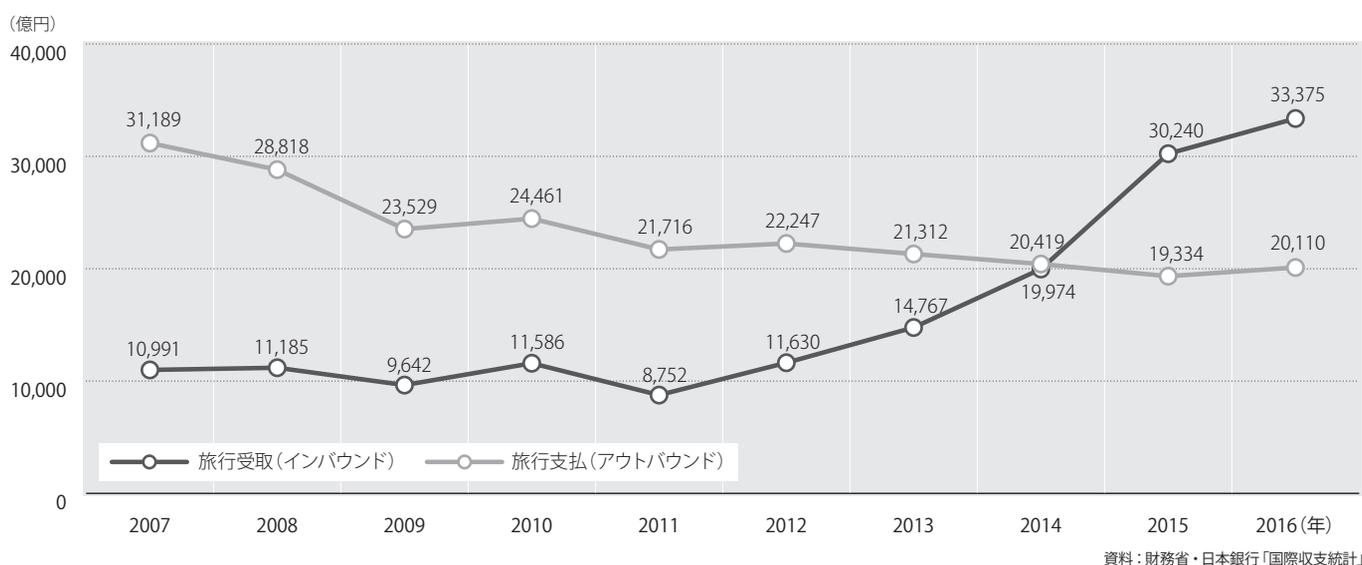
では旅行支払がおおよそ3兆円に対して旅行受取がおおよそ1兆円と3倍の開きがあったが、14年には両者ともおおよそ2兆円となり、15年には旅行受取が1.5倍に拡大して旅行支払を上回った。16年も引き続き、旅行受取が旅行支払を上回る状況が続いている(図Ⅱ-1-7)。

(川村竜之介)

図Ⅱ-1-6 訪日外客数および日本人出国者数の推移



図Ⅱ-1-7 国際収支における旅行受取および支払の推移



2 市場別に見る訪日旅行動向

16年の訪日外客数は中国の伸び率が鈍化
中国人の爆買いは沈静化するも依然高水準

(1) 出発国・地域別に見る訪日旅行動向

訪日外客数を出発地の国籍・地域別に見ると、16年は全ての主要国・地域で前年を上回り、ロシア以外では過去最高を記録した。中でも韓国や香港、中国、マレーシア、フィリピン、インドネシア、ベトナム、アメリカの伸び率が高い。

17年上半期は韓国が著しい伸びを見せており、前年同期比42.5%増となった。一方、中国と台湾は前年同期比6%台の増加で伸びは鈍化傾向にある(表II-1-2)。

1人当たり旅行支出を国籍・地域別に見ると、オーストラリア(24.7万円)が最も高い。滞在期間が長く、また冬はスキーを楽しむ客層が多いことから、特に宿泊料金や娯楽サービス費(スキー用品レンタル代など)が高くなっている。次いで中国(23.2万円)が高く、そのうち買物代が12.3万円と特に高い。最も低いのは滞在期間の短い韓国(7.0万円)であり、費目別に見ても全体的に低い(表II-1-3)。

表II-1-2 訪日外客数の推移(国籍・地域別)

(単位:万人)

(単位:%)

国籍・地域	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017 上期	2015/ 2014年比	2016/ 2015年比	17上期/ 16上期比
訪日外客数全体	672.8	733.4	834.7	835.1	679.0	861.1	621.9	835.8	1036.4	1341.3	1973.7	2404.0	1375.7	47.1	21.8	17.4
東アジア																
韓国	① 174.7	① 211.7	① 260.1	① 238.2	① 158.7	① 244.0	① 165.8	① 204.3	① 245.6	② 275.5	② 400.2	② 509.0	339.6	45.3	27.2	42.5
台湾	② 127.5	② 130.9	② 138.5	② 139.0	② 102.4	③ 126.8	③ 99.4	② 146.6	② 221.1	① 283.0	③ 367.7	③ 416.8	228.8	29.9	13.3	6.1
香港	29.9	35.2	43.2	55.0	45.0	50.9	36.5	48.2	74.6	92.6	152.4	183.9	108.3	64.6	20.7	24.8
中国	65.3	81.2	③ 94.2	③ 100.0	③ 100.6	② 141.3	② 104.3	③ 142.5	③ 131.4	③ 240.9	① 499.4	① 637.4	328.2	107.3	27.6	6.7
東南アジア																
タイ	12.0	12.6	16.7	19.2	17.8	21.5	14.5	26.1	45.4	65.8	79.7	90.2	53.1	21.2	13.2	9.3
マレーシア	7.8	8.6	10.1	10.6	9.0	11.5	8.2	13.0	17.7	25.0	30.5	39.4	21.4	22.4	29.1	16.7
シンガポール	9.4	11.6	15.2	16.8	14.5	18.1	11.1	14.2	18.9	22.8	30.9	36.2	17.8	35.5	17.2	10.6
フィリピン	14.0	9.6	9.0	8.2	7.1	7.7	6.3	8.5	10.8	18.4	26.8	34.8	22.5	45.7	29.6	23.8
インドネシア	5.9	6.0	6.4	6.7	6.4	8.1	6.2	10.1	13.7	15.9	20.5	27.1	18.5	29.2	32.1	44.8
ベトナム	2.2	2.6	3.2	3.5	3.4	4.2	4.1	5.5	8.4	12.4	18.5	23.4	15.7	49.2	26.1	27.9
欧米・その他																
インド	5.9	6.3	6.8	6.7	5.9	6.7	5.9	6.9	7.5	8.8	10.3	12.3	7.0	17.2	19.3	9.1
米国	③ 82.2	③ 81.7	81.6	76.8	70.0	72.7	56.6	71.7	79.9	89.2	103.3	124.3	69.6	15.9	20.3	13.9
カナダ	15.0	15.7	16.6	16.8	15.3	15.3	10.1	13.5	15.3	18.3	23.1	27.3	15.3	26.5	18.1	19.5
英国	22.2	21.6	22.2	20.7	18.1	18.4	14.0	17.4	19.2	22.0	25.8	29.2	15.4	17.5	13.1	5.9
フランス	11.1	11.8	13.8	14.8	14.1	15.1	9.5	13.0	15.5	17.9	21.4	25.3	13.0	20.0	18.3	6.3
ドイツ	11.8	11.5	12.5	12.6	11.1	12.4	8.1	10.9	12.2	14.0	16.3	18.3	9.8	15.9	12.7	10.5
ロシア	6.4	6.1	6.4	6.6	4.7	5.1	3.4	5.0	6.1	6.4	5.4	5.5	3.6	△ 15.2	0.9	40.5
オーストラリア	20.6	19.5	22.3	24.2	21.2	22.6	16.3	20.6	24.5	30.3	37.6	44.5	26.2	24.3	18.4	12.5
その他	49.0	49.3	56.0	58.6	53.8	58.7	41.5	57.7	68.7	82.3	103.7	119.1	61.9	26.0	14.8	12.6

(注1) ①②③は05～16年の間で旅行者数が多い年の順位を示す。

(注2) 訪日外客数は16年までは確定値、17年1～4月は暫定値、同年5～6月は推計値を使用している。

資料: 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」

表II-1-3 費目別に見る訪日外国人1人当たり旅行支出と旅行消費額(国籍・地域別、2016年)

(単位:円/人)

(単位:億円)

国籍・地域	旅行支出 総額	宿泊料金	飲食費	交通費	娯楽 サービス費	買物代	その他	訪日外国人 旅行消費額
全国籍・地域	155,896	42,182	31,508	17,838	4,725	59,323	320	37,476
東アジア								
韓国	70,281	22,090	17,847	7,505	3,042	19,562	234	3,577
台湾	125,854	33,634	26,611	14,126	4,137	47,122	224	5,245
香港	160,230	41,501	34,570	17,328	4,412	62,389	29	2,947
中国	231,504	44,126	38,943	19,917	5,014	122,895	609	14,754
東南アジア								
タイ	127,583	34,532	25,858	16,529	4,821	45,414	430	1,150
シンガポール	163,210	58,462	34,903	24,891	3,242	40,428	1,285	591
マレーシア	132,353	41,047	27,753	19,799	3,671	40,023	60	522
インドネシア	136,619	47,117	22,586	27,171	5,051	34,665	28	370
フィリピン	112,228	33,192	26,505	13,419	4,959	34,093	59	390
ベトナム	186,138	49,314	54,182	19,556	4,125	58,883	77	435
欧米・その他								
インド	144,275	61,354	27,379	19,713	2,784	32,971	74	177
英国	181,795	80,131	41,220	30,011	6,408	24,000	24	532
ドイツ	171,009	78,849	36,899	29,715	5,068	20,350	128	313
フランス	189,006	75,462	40,799	34,590	7,830	30,299	26	479
イタリア	198,000	78,597	45,299	38,900	9,315	25,596	293	236
スペイン	224,072	92,211	49,103	44,168	6,482	32,052	57	206
ロシア	190,874	61,845	31,004	21,812	7,258	64,889	4,067	105
米国	171,418	70,707	41,137	27,856	5,427	26,111	180	2,130
カナダ	154,977	55,366	36,319	28,509	5,184	29,326	273	423
オーストラリア	246,866	99,802	51,202	40,169	17,957	37,587	150	1,099

資料: 観光庁「訪日外国人消費動向調査」

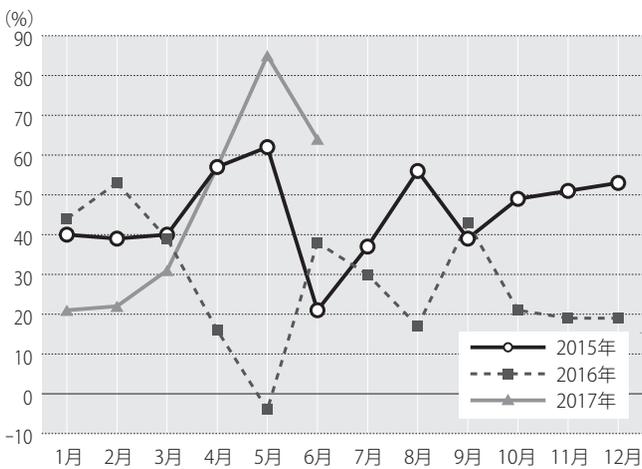
①韓国

16年の韓国人出国者数は2,238万人で、出国率は43.7%に上る(表II-1-7)。方面別で見ると、15年は日本は中国に次いで2番目に韓国人訪問者数が多く、16年の訪日韓国人旅行者数は509万人であった(表II-1-6)。

16年は同年4月に発生した熊本地震による影響が一時的に見られたが回復は早かった。訪日韓国人旅行者数の対前年伸び率を見ると、熊本地震の影響で4月は20%を下回り、5月にはマイナスとなったが、6月には約40%増に回復している(図II-1-8)。

訪日韓国人の平均泊数は4.5泊で、他の出発国・地域に比べ短い。平均泊数は近年減少傾向にあり、16年は15年より0.7泊短くなっている。訪日目的は観光レジャー比率が増加傾向にあり、16年は15年に比べ5.4%ポイント増加の78.1%であった。ツアー利用率は15年から大幅に減少し18.0%となっている(表II-1-4)。

図II-1-8 訪日韓国人旅行者数の対前年伸び率



資料：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」
(注) 訪日外客数は16年までは確定値、17年1~4月は暫定値、同年5~6月は推計値を使用している。

表II-1-4 訪日韓国人の旅行動向

	2015	2016	前年との差
訪日韓国人旅行者数(万人)	400	509	109
平均泊数(泊)	5.2	4.5	△0.7
観光レジャー比率	72.7%	78.1%	5.4%
リピーター率	67.5%	67.0%	△0.5%
ツアー利用率	25.8%	18.0%	△7.8%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-7 韓国基本情報

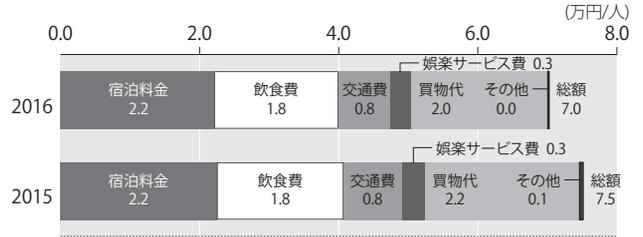
	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2020
①人口(万人) *1	4,819	4,955	4,994	5,020	5,043	5,075	5,102	5,125	5,145	5,209
②韓国人出国者数(万人) *2	1,008	1,249	1,269	1,374	1,485	1,608	1,931	2,238	—	—
③出国率(%) (②÷①)	20.9	25.2	25.4	27.4	29.4	31.7	37.9	43.7	—	—
④訪日韓国人旅行者数(万人) *3	174.7	244.0	165.8	204.3	245.6	275.5	400.2	509.0	—	—
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	17.3	19.5	13.1	14.9	16.5	17.1	20.7	22.7	—	—
⑥為替レート(100円/韓国ウォン) *1	10.8	7.6	7.2	7.1	8.9	10.0	10.7	9.4	9.8	—
⑦GDP成長率(%) *1	3.9	6.5	3.7	2.3	2.9	3.3	2.8	2.8	2.7	3.0
⑧一人当たりGDP(米ドル) *1	18,640	22,087	24,080	24,359	25,890	27,811	27,105	27,539	29,115	32,348

(注1) 斜体は推計値、(注2) ⑥為替レートの2017年の数値は2017年1~6月の平均値

資料:IMF(*1)、KTO(*2)、JNTO(*3)

16年の訪日韓国人旅行者1人当たり旅行支出は他の出発国・地域の中で最も低い7.0万円である。短期滞在が多いことが主因だが、買物代も2.0万円と低い(図II-1-9)。購入率が高い商品は「菓子類」で8割以上が購入している(表II-1-5)。

図II-1-9 訪日韓国人の1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-5 費目別購入率および購入者単価(韓国、2016年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円)
1位	菓子類	81.1	5,468
2位	その他食料品・飲料・酒・たばこ	60.0	5,657
3位	医薬品・健康グッズ・トイレットリー	44.8	7,315
4位	化粧品・香水	31.9	7,194
5位	服(和服以外)・かばん・靴	22.1	14,728
6位	マンガ・アニメ・キャラクター関連商品	15.2	7,425
7位	和服(着物)・民芸品	5.4	5,085
8位	書籍・絵巻書・CD・DVD	4.9	5,437
9位	電気製品	2.7	17,910
10位	カメラ・ビデオカメラ・時計	1.8	19,321

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-6 アジア各国・地域への韓国人訪問者数 (単位：万人)

訪問先	基準	2010	2011	2012	2013	2014	2015
中国	NFV	407.6	418.5	407.0	396.9	418.2	444.4
日本	NFV	244.0	165.8	204.3	245.6	275.5	440.2
タイ	NFT	80.5	100.6	116.4	129.5	111.7	137.3
香港	RFV	89.1	102.1	107.8	108.4	125.1	124.3
ベトナム	RFV	49.6	53.6	70.1	74.9	84.8	111.3
台湾	RFV	21.7	24.3	25.9	35.1	52.8	65.9
シンガポール	RFV	36.1	41.5	44.5	47.2	53.7	57.7
マレーシア	NFV	26.4	26.3	28.4	27.5	38.6	42.1
カンボジア	RFT	29.0	34.3	41.1	43.5	42.4	39.5
フィリピン	RFT	74.1	92.5	103.1	116.6	117.5	—
インドネシア	RFT	27.5	32.1	32.9	35.1	35.2	—

資料：日本政府観光局(JNTO)「日本の国際観光統計(2015)」

(注) [N]国籍別統計、[R]居住地別統計、[F]国境到着者数、[V]日帰りを含む旅行者数、[T]宿泊を伴った旅行者数

②台湾

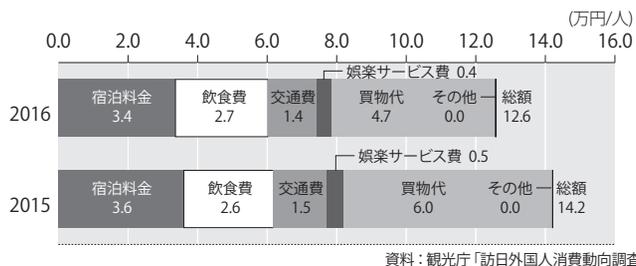
台湾人出国者数は増加傾向が続いており、16年は1,459万人となった。16年の出国率は6割を超えている。出国者に占める訪日旅行者比率も増加傾向にあり、16年は28.6%となった(表II-1-11)。14年までの方面別旅行先の第1位は中国が占めていたが、15年に日本が逆転した。16年も日本が第1位で、中国との差は開きつつある(表II-1-10)。

これまでツアー利用客が半数以上を占めていた台湾であったが、16年は個別手配化が大きく進行した。訪日台湾人の旅行形態を見ると、16年のツアー利用率は前年に比べ減少し、47.7%と半数を切った。観光レジャー比率は82.9%と前年から大きな変化はない。訪日2回目以上のリピーター率は主要国・地域の中で最も高く81.2%であり、前年よりわずかに増加した(表II-1-8)。

訪日台湾人旅行者の1人当たり旅行支出は12.6万円で、前年より1.6万円減少した。特に買物代の減少が大きく、前年より1.3万円減少している(図II-1-10)。

買物代のうち、購入率が最も高いのは「医薬品・健康グッズ・トイレットリー」で、訪日台湾人旅行者の7割以上が購入している(表II-1-9)。

図II-1-10 訪日台湾人の1人当たり旅行支出



表II-1-9 費目別購入率および購入者単価(台湾、2016年)

購入率順位	費目	購入率 (%)	購入者単価 (円)
1位	医薬品・健康グッズ・トイレットリー	72.8	15,746
2位	菓子類	67.2	8,346
3位	その他食料品・飲料・酒・たばこ	64.4	8,900
4位	服(和服以外)・かばん・靴	45.8	20,966
5位	化粧品・香水	39.3	15,832
6位	電気製品	23.0	20,143
7位	書籍・絵葉書・CD・DVD	12.8	4,532
8位	マンガ・アニメ・キャラクター関連商品	10.5	7,492
9位	和服(着物)・民芸品	7.3	10,431
10位	カメラ・ビデオカメラ・時計	4.6	24,297

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-8 訪日台湾人の旅行動向

	2015	2016	前年との差
訪日台湾人旅行者数(万人)	368	417	49
平均泊数(泊)	6.4	7.4	1.0
観光レジャー比率	83.3%	82.9%	△0.4%
リピーター率	79.3%	81.2%	1.9%
ツアー利用率	56.5%	47.7%	△8.8%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-10 方面別台湾人旅行者数

	2012			2013			2014			2015			2016		
	国・地域	人数(万人)	前年比(%)												
1位	中国	313.9	10.3	中国	307.2	△2.1	中国	326.7	6.3	日本	379.8	27.8	日本	429.5	13.1
2位	香港	202.1	△6.3	日本	234.6	50.4	日本	297.2	26.7	中国	340.4	4.2	中国	368.5	8.3
3位	日本	156.0	37.3	香港	203.9	0.9	香港	201.8	△1.0	香港	200.8	△0.5	香港	190.3	△5.3
4位	韓国	53.3	25.9	韓国	51.9	△2.7	韓国	62.7	20.9	タイ	60.0	43.0	韓国	80.8	61.7
5位	マカオ	52.7	△10.3	マカオ	51.5	△2.3	マカオ	49.3	△4.2	マカオ	52.7	6.9	マカオ	59.9	13.6

(注) 出発地側の発表データであり、到着地側が公表している各国の到着者数とは一致しない。資料：台湾交通部観光局

表II-1-11 台湾基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2020
①人口(万人) *1	2,277	2,316	2,323	2,332	2,337	2,343	2,349	2,354	2,359	2,373
②台湾人出国者数(万人) *2	821	942	958	1,024	1,105	1,184	1,318	1,459	—	—
③出国率(%) (②÷①)	36.0	40.6	41.3	43.9	47.3	50.5	56.1	62.0	—	—
④訪日台湾人旅行者数(万人) *3	127.5	126.8	99.4	146.6	221.1	283.0	367.7	416.8	—	—
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	15.5	13.5	10.4	14.3	20.0	23.9	27.9	28.6	—	—
⑥為替レート(円/台湾ドル) *1, *4	3.4	2.8	2.7	2.7	3.3	3.5	3.8	3.4	3.7	—
⑦GDP成長率(%) *1	5.4	10.6	3.8	2.1	2.2	4.0	0.7	1.4	1.7	2.3
⑧一人当たりGDP(米ドル) *1	16,503	19,262	20,912	21,270	21,888	22,639	22,358	22,453	24,028	25,910

(注1) 斜体は推計値、(注2) ⑥為替レートの2017年の数値は2017年1~6月の平均値 資料:IMF(*1)、台湾交通部観光局(*2)、JNTO(*3)、FRB(*4)

③香港

香港人出国者数は近年増加傾向にあり、15年は8,908万人（中国への訪問者数を含む）であった（表II-1-15）。中国以外の訪問地では日本と台湾が150万人程度（15年）と多く、次いでタイやシンガポール、韓国と続く。このうち日本や台湾、タイへの訪問者数は増加傾向にある（表II-1-14）。訪日香港人旅行者数は16年に過去最高の184万人に上った（表II-1-15）。

訪日香港人の特徴は、観光レジャー比率とリピーター率が高いことである。訪日2回目以上の割合が高く、16年は81.1%であった（表II-1-12）。

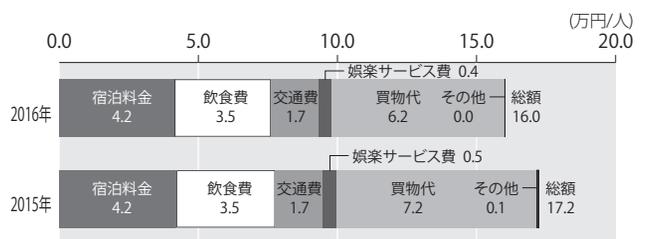
訪日香港人の1人当たり旅行支出は16.0万円で前年より1.2万円減少した。特に買物代の減少が大きく、前年より1.0万円減少している。他の国籍・地域に比べて1泊当たりの滞在費（宿泊費・飲食費）が高い点も香港の特徴である（図II-1-11）。

表II-1-12 訪日香港人の旅行動向

	2015	2016	前年との差
訪日香港人旅行者数(万人)	152	184	32
平均泊数(泊)	5.9	6.3	0.4
観光レジャー比率	87.9%	88.9%	1.0%
リピーター率	81.9%	81.1%	△0.8%
ツアー利用率	41.8%	32.9%	△8.9%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-11 訪日香港人の1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

買物代のうち、「服(和服以外)・かばん・靴」の購入率が他の国籍・地域に比べ高くなっており、購入者単価も3.5万円と高い（表II-1-13）。

表II-1-13 費目別購入率および購入者単価(香港、2016年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円)
1位	医薬品・健康グッズ・トイレタリー	62.8	13,898
2位	その他食料品・飲料・酒・たばこ	60.0	11,702
3位	菓子類	57.9	8,504
4位	服(和服以外)・かばん・靴	57.9	34,773
5位	化粧品・香水	48.7	20,902
6位	和服(着物)・民芸品	13.1	10,974
7位	書籍・絵葉書・CD・DVD	12.9	6,289
8位	電気製品	12.3	18,390
9位	マンガ・アニメ・キャラクター関連商品	11.3	12,237
10位	カメラ・ビデオカメラ・時計	5.2	35,732

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-14 アジア各国・地域への香港人訪問者数 (単位：万人)

訪問先	基準	2010	2011	2012	2013	2014	2015
中国	NFV	7,932.2	7,935.8	7,871.3	7,688.5	7,613.2	7,944.8
日本	NFV	50.9	36.5	48.2	74.6	92.6	152.4
台湾	RFV	79.4	81.8	101.6	118.3	137.6	151.4
タイ	NFT	31.6	41.2	47.4	58.8	48.4	66.9
シンガポール	RFV	38.8	46.4	47.2	54.0	63.1	61.0
韓国	NFV	22.9	28.1	36.0	40.0	55.8	52.3
カンボジア	RFT	0.4	0.5	0.8	0.9	1.0	1.5
フィリピン	RFT	13.4	11.2	11.9	12.6	11.4	—
ベトナム	RFV	—	—	1.3	1.0	1.5	—
マレーシア	NFV	—	0.5	0.1	0.1	0.1	—
インドネシア	RFT	7.8	8.5	8.2	9.5	9.5	—

資料：日本政府観光局(JNTO)「日本の国際観光統計(2015)」

(注) [N]国籍別統計、[R]居住地別統計、[F]国境到着者数、[V]日帰りを含む旅行者数、[T]宿泊を伴った旅行者数

表II-1-15 香港基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2020
①人口(万人) *1	684	705	711	717	721	725	731	737	743	760
②香港人出国者数(万人) *2	7,230	8,444	8,482	8,528	8,441	8,452	8,908	—	—	—
③出国率(%) (②÷①)	1,057.3	1,197.4	1,192.9	1,189.2	1,170.6	1,165.3	1,218.6	—	—	—
④訪日香港人旅行者数(万人) *2	29.9	50.9	36.5	48.2	74.6	92.6	152.4	183.9	—	—
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	0.4	0.6	0.4	0.6	0.9	1.1	1.7	—	—	—
⑥為替レート(円/香港ドル) *1, *3	14.2	11.3	10.2	10.3	12.6	13.6	15.6	14.0	14.4	—
⑦GDP成長率(%) *1	7.4	6.8	4.8	1.7	3.1	2.8	2.4	1.9	2.4	2.9
⑧1人当たりGDP(米ドル) *1	26,554	32,421	34,955	36,624	38,233	40,186	42,328	43,528	44,752	48,549

(注1) 斜体は推計値、(注2) ⑥為替レートの2017年の数値は2017年1～6月の平均値

資料:IMF(*1)、JNTO(*2)、FRB(*3)

④中国

16年は中国人観光客による「爆買い」は落ち着きを見せたものの、訪日中国人旅行者数は前年に引き続き増加した。

中国人出国者数は増加傾向にあり、15年は1億1,700万人となった。出国率は8.5%と他の東アジア諸国に比べ低いが、年々上昇している(表II-1-19)。15年における中国人出国者の訪問先は、香港を除くとタイが最も多く、2位が韓国、3位が日本である。特に15年はタイと日本が急増している(表II-1-18)。

16年の訪日中国人旅行者数は637万人であり、旅行消費額のシェアは訪日外国人全体の約4割と最も大きい。16年は前年に比べてツアー利用率が減少し、リピーター率が増加した。前年の15年は初めて訪日するツアー利用客が訪日中国人旅行者数増の要因であったが、16年は個別手配客やリピーターが牽引した(表II-1-16)。

16年の訪日中国人旅行者の1人当たり旅行支出は23.2万円の前年より5.2万円の減少となった。費目別に見ると買物代の減少が大きく、前年から3.9万円減少しており、いわゆる「爆買い」は沈静化した(図II-1-12)。旅行支出の減少には、15年に比べると円高基調となっている為替に加えて、16年4月の関税引き上げ、それに伴う越境EC(電子商取引)の利用増が影響していると見られる。

しかしながら他の国籍・地域と比べると依然として中国人の買物代は高い。「化粧品・香水」や「医薬品・健康グッズ・トイレタリー」は7割以上が購入しており、購入者単価もそれぞれ4.5万円、3.2万円と高い(表II-1-17)。

表II-1-16 訪日中国人の旅行動向

	2015	2016	前年との差
訪日中国人旅行者数(万人)	499	637	138
平均泊数(泊)	12.7	11.8	△0.9
観光レジャー比率	72.3%	75.1%	2.8%
リピーター率	37.0%	41.0%	4.0%
ツアー利用率	57.4%	52.3%	△5.1%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

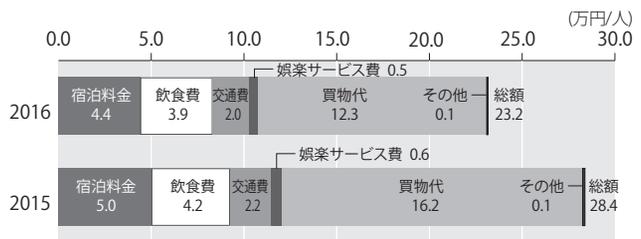
表II-1-19 中国基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2020
①人口(万人) *1	130,756	134,091	134,735	135,404	136,072	136,782	137,462	138,271	139,085	141,555
②中国人出国者数(万人) *2	3,055	5,739	7,025	8,318	9,819	10,728	11,700	—	—	—
③出国率(%) (②÷①)	2.3	4.3	5.2	6.1	7.2	7.8	8.5	—	—	—
④訪日中国人旅行者数(万人) *2	65.3	141.3	104.3	142.5	131.4	240.9	499.4	637.4	—	—
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	2.1	2.5	1.5	1.7	1.3	2.2	4.3	—	—	—
⑥為替レート(円/中国元) *1	13.5	13.0	12.3	12.6	15.8	17.2	19.5	16.4	16.3	—
⑦GDP成長率(%) *1	11.3	10.6	9.5	7.9	7.8	7.3	6.9	6.7	6.6	5.9
⑧一人当たりGDP(米ドル) *1	1,766	4,524	5,583	6,329	7,081	7,702	8,167	8,113	8,481	10,644

(注1) 斜体は推計値、(注2) ⑥為替レートの2017年の数値は2017年1~6月の平均値

資料: IMF (*1)、JNTO (*2)

図II-1-12 訪日中国人の1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-17 費目別購入率および購入者単価(中国、2016年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円)
1位	化粧品・香水	75.9	45,236
2位	医薬品・健康グッズ・トイレタリー	72.5	31,549
3位	菓子類	67.5	11,789
4位	その他食料品・飲料・酒・たばこ	56.9	14,781
5位	服(和服以外)・かばん・靴	45.3	47,691
6位	電気製品	30.5	41,318
7位	カメラ・ビデオカメラ・時計	16.0	68,390
8位	マンガ・アニメ・キャラクター関連商品	13.9	12,180
9位	書籍・絵葉書・CD・DVD	10.4	7,633
10位	和服(着物)・民芸品	7.3	18,392

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-18 アジア各国・地域への中国人訪問者数 (単位: 万人)

訪問先	基準	2010	2011	2012	2013	2014	2015
香港	RFV	2,268.4	2,810.0	3,491.1	4,074.5	4,724.8	4,584.2
タイ	NFV	112.2	172.1	278.7	463.7	462.4	793.5
韓国	NFV	187.5	222.0	283.7	432.7	612.7	598.4
日本	NFV	141.3	104.3	142.5	131.4	240.9	499.4
台湾	RFV	163.1	178.4	258.6	287.5	398.7	418.4
シンガポール	RFV	117.1	157.8	203.4	227.0	172.2	210.6
ベトナム	RFV	90.5	141.7	142.9	190.8	194.7	178.1
マレーシア	NFV	113.0	125.1	158.3	179.1	161.3	167.7
カンボジア	RFV	17.8	24.7	33.4	46.3	56.0	69.5
フィリピン	RFV	18.7	24.3	25.1	42.6	39.5	—
インドネシア	RFV	46.9	59.5	72.6	85.8	105.3	—

資料：日本政府観光局(JNTO)「日本の国際観光統計(2015)」

(注) [N]国籍別統計、[R]居住地別統計、[F]国境到着者数、[V]日帰りを含む旅行者数、[T]宿泊を伴った旅行者数

⑤タイ

15年におけるタイ人出国者のうち最も訪問者数の多い国籍・地域はマレーシア、次いで2位が日本であった。近年は日本への出国者数増加率が高く、マレーシアとの差は徐々に縮まりつつある(表II-1-22)。

16年の訪日タイ人旅行者数は90万人で前年比13.2%の増加となったが、増加率は鈍化傾向にある(表II-1-23)。

旅行動向を見ると、16年は前年から観光レジャー比率が上昇し、平均泊数が減少している。ツアー利用率は前年から2.2%の減少となり、個人旅行化が進んでいる(表II-1-20)。

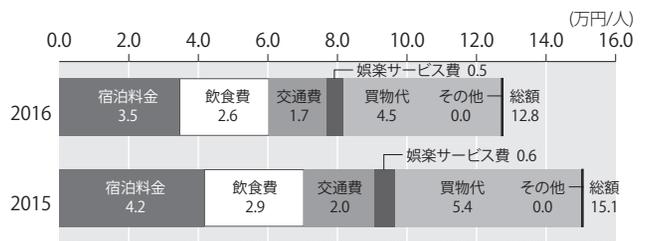
訪日タイ人旅行者の1人当たりの旅行支出は12.8万円で、15年に比べ15.3%の減少となった。費目別に見ると「その他」以外のすべての費目で減少している。16年の為替レートは前年に比べると若干の円高傾向ではあるが、外貨換算した旅行支出も前年から減少している(図II-1-13)。

表II-1-20 訪日タイ人の旅行動向

	2015	2016	前年との差
訪日タイ人旅行者数(万人)	80	90	10
平均泊数(泊)	11.1	9.9	△1.2
観光レジャー比率	68.0%	71.8%	3.8%
リピーター率	63.6%	64.9%	1.3%
ツアー利用率	31.5%	29.3%	△2.2%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-13 訪日タイ人の1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

買物代のうち人気なのは「菓子類」で、約8割が購入している。「マンガ・アニメ・キャラクター関連商品」は他の国籍・地域に比べて購入者単価が高く、2.9万円となっている(表II-1-21)。

表II-1-21 費目別購入率および購入者単価(タイ、2016年)

順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円)
1位	菓子類	79.2	10,532
2位	服(和服以外)・かばん・靴	56.6	20,398
3位	化粧品・香水	54.2	15,100
4位	その他食料品・飲料・酒・たばこ	50.5	10,539
5位	医薬品・健康グッズ・トイレタリー	24.3	11,055
6位	マンガ・アニメ・キャラクター関連商品	13.0	29,427
7位	和服(着物)・民芸品	12.6	17,026
8位	カメラ・ビデオカメラ・時計	9.2	22,683
9位	電気製品	7.2	13,679
10位	書籍・絵葉書・CD・DVD	5.8	8,716

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-22 アジア各国・地域へのタイ人訪問者数 (単位：万人)

訪問先	基準	2010	2011	2012	2013	2014	2015
マレーシア	NFV	145.9	144.2	126.3	115.6	129.9	134.4
日本	NFV	21.5	14.5	26.1	45.4	65.8	79.7
中国	NFV	63.6	60.8	64.8	65.2	61.3	64.2
香港	RFV	45.0	48.0	50.2	53.5	48.5	52.9
シンガポール	RFV	43.0	47.3	47.8	49.7	50.7	51.6
韓国	NFV	26.1	30.9	38.7	37.3	46.7	37.2
カンボジア	RFT	9.6	11.7	20.1	22.1	27.9	35.0
ベトナム	RFV	22.3	18.2	22.6	26.9	24.7	21.5
台湾	RFV	9.3	10.3	9.8	10.4	10.5	12.4
フィリピン	RFT	3.7	3.8	4.1	4.8	4.6	—
インドネシア	RFT	12.4	11.5	11.5	12.5	11.4	—

資料：日本政府観光局(JNTO)「日本の国際観光統計(2015)」

(注) [N]国籍別統計、[R]居住地別統計、[F]国境到着者数、[V]日帰りを含む旅行者数、[T]宿泊を伴った旅行者数

表II-1-23 タイ基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2020
①人口(万人) *1	6,515	6,734	6,764	6,796	6,830	6,866	6,884	6,898	6,910	6,931
②タイ人出国者数(万人) *2	305	545	540	572	597	644	—	—	—	—
③出国率(%) (②÷①)	4.7	8.1	8.0	8.4	8.7	9.4	—	—	—	—
④訪日タイ人旅行者数(万人) *2	12.0	21.5	14.5	26.1	45.4	65.8	79.7	90.2	—	—
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	3.9	3.9	2.7	4.6	7.6	10.2	—	—	—	—
⑥為替レート(円/バーツ) *1	2.7	2.8	2.6	2.6	3.2	3.3	3.5	3.1	3.2	—
⑦GDP成長率(%) *1	4.2	7.5	0.8	7.2	2.7	0.9	2.9	3.2	3.0	3.1
⑧1人当たりGDP(米ドル) *1	2,906	5,065	5,482	5,850	6,157	5,921	5,799	5,899	6,265	7,401

(注1) 斜体は推計値、(注2) ②タイ人出国者数は日帰りを含んでいない、(注3) ⑥為替レートの2017年の数値は2017年1~6月の平均値

資料: IMF (*1)、JNTO (*2)

⑥米国

米国人出国者数は増加傾向にあり、方面別旅行先ではメキシコとカナダが11年以降トップの座を占めている。アジアでは12年以降上位3位までの順位に変動はなく、1位が中国、2位がインド、3位が日本である。しかしながら近年は4位のフィリピン人気も高まっており、日本との差を縮めつつある(表II-1-25)。訪日米国人旅行者数は増加傾向にあり、16年は124万人と過去最高を記録した(表II-1-26)。

訪日米国人旅行者は従来業務目的客が多かったが、近年は観光レジャー比率が高まっており、16年は前年比7.6ポイント増の42.7%となった。リピーター率は前年から6.1ポイント減少しており、16年は観光目的の初来訪者が増加したものと見られる(表II-1-24)。

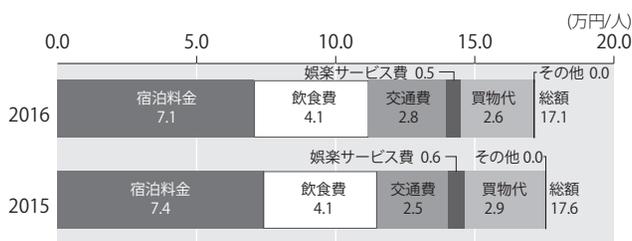
16年の訪日米国人旅行者1人当たり旅行支出は17.1万円で、15年よりやや減少した。宿泊料金の占める比率が高く、買物代が低い傾向にある。費目の構成比に大きな変化はない(図II-1-14)。

表II-1-24 訪日米国人の旅行動向

	2015	2016	前年との差
訪日米国人旅行者数(万人)	103	124	21
平均泊数(泊)	14.7	14.1	△0.6
観光レジャー比率	35.1%	42.7%	7.6%
リピーター率	56.6%	50.5%	△6.1%
ツアー利用率	7.7%	9.6%	1.9%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-14 訪日米国人の1人当たり旅行支出



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-25 方面別米国人旅行者数

全体

順位	2011			2012			2013			2014			2015		
	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)
1位	メキシコ(空路のみ)	553.7	3.0	メキシコ(空路のみ)	577.2	4.0	メキシコ(空路のみ)	621.9	8.0	メキシコ(空路のみ)	693.1	11.4	メキシコ(空路のみ)	799.4	15.0
2位	カナダ(空路のみ)	345.1	0.0	カナダ(空路のみ)	359.6	4.0	カナダ(空路のみ)	322.1	5.0	カナダ(空路のみ)	341.0	5.9	カナダ(空路のみ)	363.4	6.0
3位	英国	240.5	2.0	英国	253.7	5.0	英国	264.0	4.0	英国	283.2	7.3	英国	288.5	2.0
4位	フランス	175.6	1.0	ドミニカ共和国	225.2	34.0	フランス	200.2	△1.0	ドミニカ共和国	270.9	—	ドミニカ共和国	278.7	3.0
5位	イタリア	170.2	△2.0	フランス	202.4	15.0	イタリア ジャマイカ	179.9	△7.0 19.0	フランス	212.4	6.1	フランス	236.1	11.0
17位	日本	59.5	△50.0	日本	85.5	44.0	日本	81.2	△5.0	日本	80.0	△1.5	日本	88.5	11.0

アジア

順位	2011			2012			2013			2014			2015		
	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)
1位	中国	110.8	△12.0	中国	114.0	3.0	中国	113.2	△1.0	中国	113.9	0.6	中国	121.3	7.0
2位	インド	94.6	23.0	インド	94.1	△1.0	インド	104.5	11.0	インド	107.7	3.1	インド	108.2	0.0
3位	香港	67.6	△5.0	日本	85.5	44.0	日本	81.2	△5.0	日本	80.0	△1.5	日本	88.5	11.0
4位	日本	59.5	△50.0	香港	62.7	△7.0	韓国	58.0	7.0	フィリピン	70.8	22.1	フィリピン	82.0	16.0
5位	台湾 フィリピン	51.3	0.0 39.0	フィリピン	59.9	17.0	フィリピン	58.0	△3.0	韓国	52.3	△9.8	香港	55.7	7.0

資料：U.S. Department of Commerce, International Trade Administration, National Travel & Tourism Office

表II-1-26 米国基本情報

	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2020
①人口(万人) *1	29,612	30,976	31,202	31,428	31,648	31,879	32,108	32,330	32,574	33,331
②米国人出国者数(万人) *2	3,837	3,736	3,601	3,787	3,846	4,113	4,442	—	—	—
③出国率(%) (②÷①)	13.0	12.1	11.5	12.0	12.2	12.9	13.8	—	—	—
④訪日米国人旅行者数(万人) *3	82.2	72.7	56.6	71.7	79.9	89.2	103.3	124.3	—	—
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	2.1	1.9	1.6	1.9	2.1	2.2	2.3	—	—	—
⑥為替レート(円/米ドル) *1	110.2	87.8	79.8	79.8	97.7	105.6	121.1	108.7	112.3	—
⑦GDP成長率(%) *1	3.3	2.5	1.6	2.2	1.7	2.4	2.6	1.6	2.3	1.8
⑧1人当たりGDP(米ドル) *1	44,218	48,310	49,734	51,403	52,742	54,560	56,175	57,436	59,609	66,194

資料：IMF (*1)、U.S. Department of Commerce, International Trade Administration (*2)、JNTO (*3)

(注1)斜体は推計値、(注2)②米国人出国者数はメキシコやカナダへの陸路による出国者数を除いた数値、(注3)④為替レートの2017年の数値は2017年1~6月の平均値、(注4)出発地側の発表データであり、到着地側が公表している各国の到着者数とは一致しない。

⑦注目市場の動向～東南アジア

今回は注目市場として東南アジアの主要6か国(タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム)に着目する。東南アジア主要6か国の訪日外客数は、東日本大震災後の12年以降増加し続け、16年には251万人となった。東南アジア6か国全体の対前年比は、震災後の12年に53.7%と急回復した後も年々増加が続いており、16年は前年比21.3%増となった。国籍別にみると特にタイのシェアが大きい(図II-1-15)。

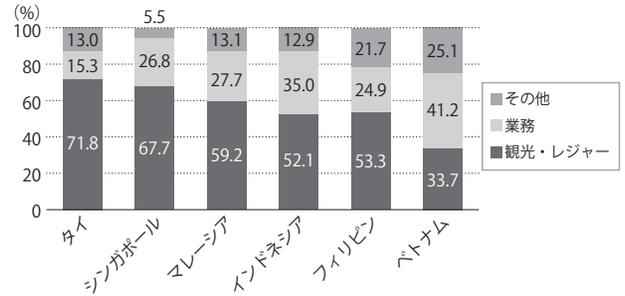
16年の訪日外国人旅行消費額3兆7,476億円のうち、東南アジア主要6か国は9%(3,458億円)を占める。このうち、タイが1,150億円と最も多く、次いでシンガポール、マレーシアと続く(図II-1-16)。

国籍別に旅行目的の構成比を見ると、観光・レジャー目的客の比率はタイやシンガポールで高く7割前後を占める。フィリピンやベトナムは、留学や親族・知人訪問を含む「その他」が多い。また、ベトナムは業務比率が最も高く約4割を占める(図II-1-17)。

このうち、観光・レジャー目的客に絞って旅行動向を見ると、16年の1人当たり旅行支出はベトナム以外で減少している。ベトナムの1人当たり旅行支出は23.0万円と最も高い。リピーター率はイ

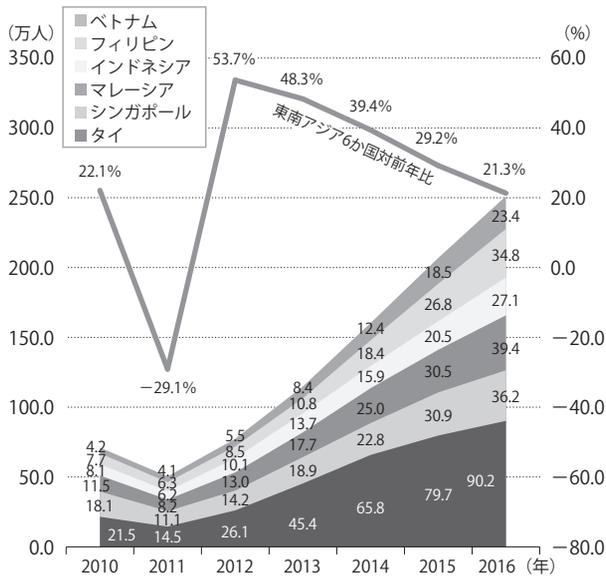
ンドネシア以外の全ての国籍で増加しており、16年は前年に比べリピーターが増加した。団体ツアー利用率はインドネシアやベトナムで大きく減少しており、急速に個人旅行化が進行している(表II-1-27)。

図II-1-17 東南アジア主要6か国の旅行目的別構成比(2016年)



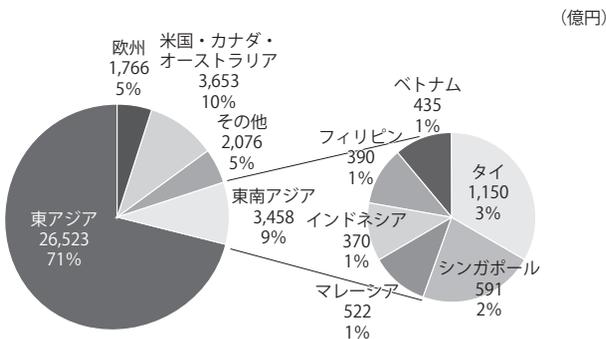
資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-15 東南アジア主要6か国の訪日外客数推移



資料：日本政府観光局 (JNTO)「訪日外客数」

図II-1-16 旅行消費額の構成比(2016年)



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-27 観光・レジャー目的客の旅行動向

タイ	2015	2016	前年との差
平均泊数(泊)	6.1	6.0	△0.1
1人当たり旅行支出(万円)	15.2	13.2	△2.0
リピーター率	61.4%	63.6%	2.2%
団体ツアー利用率	26.9%	24.8%	△2.0%
シンガポール	2015	2016	前年との差
平均泊数(泊)	7.9	8.0	0.0
1人当たり旅行支出(万円)	21.4	16.9	△4.4
リピーター率	65.3%	66.6%	1.3%
団体ツアー利用率	11.0%	10.8%	△0.2%
マレーシア	2015	2016	前年との差
平均泊数(泊)	6.6	6.9	0.3
1人当たり旅行支出(万円)	16.6	14.1	△2.5
リピーター率	42.0%	43.7%	1.7%
団体ツアー利用率	24.2%	21.8%	△2.3%
インドネシア	2015	2016	前年との差
平均泊数(泊)	7.1	7.0	△0.0
1人当たり旅行支出(万円)	17.9	14.1	△3.8
リピーター率	43.1%	41.9%	△1.2%
団体ツアー利用率	31.2%	18.8%	△12.4%
フィリピン	2015	2016	前年との差
平均泊数(泊)	9.6	9.0	△0.6
1人当たり旅行支出(万円)	14.5	11.9	△2.6
リピーター率	42.0%	47.2%	5.2%
団体ツアー利用率	12.0%	7.2%	△4.9%
ベトナム	2015	2016	前年との差
平均泊数(泊)	6.7	9.3	2.6
1人当たり旅行支出(万円)	21.8	23.0	1.2
リピーター率	23.4%	33.5%	10.1%
団体ツアー利用率	68.1%	27.1%	△41.0%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

(2) 目的地別に見る訪日旅行動向

法務省「出入国管理統計」によると、16年に入国した外国人数は2,322万人（前年比17.9%増）であった。入国港の所在地別に見ると北陸信越以外の全ての地域で増加しているが、伸び率は前年より鈍化している（表Ⅱ-1-28）。九州・沖縄地方ではクルーズ客も増加しており、16年の船舶観光上陸許可を受けた外国人数は194万人であった。そのほとんどを161万人の中国が占めており、上陸港は博多港や長崎港が多い（表Ⅱ-1-29）。

観光庁「宿泊旅行統計調査」によると、16年における外国人延べ宿泊者数（従業員数10人以上の宿泊施設を利用した外国人に限る）は前年比5.9%増の6,407万人泊で、15年に比べ伸び率は鈍化した（表Ⅱ-1-30）。近年の訪日外国人の宿泊施設利用率推移を見ると、「ユースホステル・ゲストハウス」や有償での住宅宿泊（民泊）を含む「その他」の利用率が増加傾向にある（図Ⅱ-1-18）。

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、訪問地における地方ブロック別の1人当たり旅行中支出は、関東が7.1万円と最も高く、次いで北海道（6.6万円）、九州（5.0万円）の順番となっている。また、東京都や大阪府と比べると、京都府の旅行中支出は1.6万円と低い（表Ⅱ-1-31）。（川村竜之介）

表Ⅱ-1-28 入国港の所在地別に見る外国人入国者数

(単位:人)

	2015			2016		
	実数	構成比	前年比	実数	構成比	前年比
日本全国	19,688	100.0%	39.1%	23,219	100.0%	17.9%
北海道	1,155	5.9%	37.7%	1,351	5.8%	17.0%
東北	72	0.4%	32.1%	75	0.3%	4.8%
関東	8,666	44.0%	28.8%	10,158	43.7%	17.2%
北陸信越	142	0.7%	21.7%	138	0.6%	△3.0%
中部	1,180	6.0%	52.7%	1,332	5.7%	12.9%
近畿	5,053	25.7%	57.8%	6,125	26.4%	21.2%
中国	217	1.1%	41.1%	264	1.1%	21.9%
四国	68	0.3%	52.6%	88	0.4%	29.2%
九州	2,045	10.4%	38.4%	2,310	9.9%	12.9%
沖縄	1,092	5.5%	43.7%	1,378	5.9%	26.3%

資料:法務省「出入国管理統計」

(注1)法務省の正規入国者数の定義は、日本政府観光局(JNTO)の訪日外客数と異なる。
(注2)地方区分は国土交通省地方運輸局の管轄都道府県に基づく。

表Ⅱ-1-29 船舶観光上陸許可を受けた外国人数(2016年)

(単位:人)

国籍・地域	全国籍・地域				
	韓国	台湾	香港	中国	
日本全国	1,936,469	12,167	200,515	42,499	1,605,707
博多港	781,274	313	4,450	2,990	763,768
長崎港	435,378	2,011	2,166	3,643	405,598
鹿児島港	98,326	1,426	300	424	94,684
那覇港	258,735	1,911	65,601	21,607	144,951
石垣港	107,301	21	80,410	6,864	15,885

資料:法務省「出入国管理統計」

表Ⅱ-1-30 着地別外国人延べ宿泊者数(暦年)(単位:万人泊)

	2015			2016		
	実数	構成比	前年比	実数	構成比	前年比
日本全国	6,051	100.0%	43.8%	6,407	100.0%	5.9%
北海道	541	8.9%	46.1%	617	9.6%	13.9%
東北	53	0.9%	48.4%	65	1.0%	23.4%
関東	2,341	38.7%	31.4%	2,386	37.2%	1.9%
北陸信越	155	2.6%	43.5%	187	2.9%	20.4%
中部	491	8.1%	72.4%	491	7.7%	0.0%
近畿	1,487	24.6%	46.5%	1,620	25.3%	9.0%
中国	100	1.6%	67.7%	120	1.9%	20.6%
四国	36	0.6%	50.5%	51	0.8%	41.8%
九州	504	8.3%	64.4%	518	8.1%	2.9%
沖縄	344	5.7%	54.6%	352	5.5%	2.4%
(以下再掲)						
東京都	1,608	26.6%	28.4%	1,646	25.7%	2.4%
大阪府	865	14.3%	45.3%	980	15.3%	13.2%
京都府	409	6.8%	38.8%	415	6.5%	1.4%

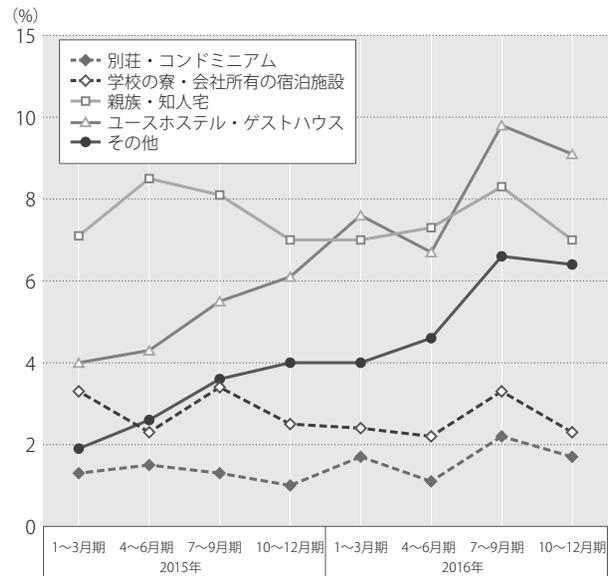
資料:観光庁「宿泊旅行統計調査」

(注1)従業員数10人以上の宿泊施設を利用した外国人に限る。

(注2)日本在住の外国人も一部含まれている可能性がある。

(注3)地方区分は国土交通省地方運輸局の管轄都道府県に基づく。

図Ⅱ-1-18 宿泊施設利用率の推移(ホテル・旅館以外)



資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表Ⅱ-1-31 訪問地別に見る訪日外国人1人当たり旅行中支出(2016年)

(単位:万円/人)

国籍・地域	全国籍・地域				
	韓国	台湾	香港	中国	
北海道	6.6	4.5	6.8	9.7	8.4
東北	3.5	3.4	3.3	—	—
関東	7.1	6.1	6.6	10.6	8.5
北陸信越	2.9	3.1	1.8	—	2.9
中部	2.9	3.2	3.2	6.3	2.6
近畿	4.5	4.1	4.7	4.4	6.0
中国	2.1	2.3	2.6	—	2.1
四国	2.7	2.4	—	—	—
九州	5.0	4.6	7.4	9.9	8.7
沖縄	4.7	3.6	4.7	7.7	7.8
(以下再掲)					
東京都	6.5	5.5	5.6	9.7	7.2
大阪府	3.7	3.5	3.7	3.6	4.9
京都府	1.6	0.8	1.3	1.1	1.6

資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

(注1)訪問地における1人当たり旅行中支出の平均値である。

パッケージツアー参加費に含まれる宿泊料金などの滞在費は含まない。

(注2)地方区分は国土交通省地方運輸局の管轄都道府県に基づく。

(注3)サンプル数が少ない数値は非表示としている。

3 世界の国際観光動向

世界の国際観光客到着数は前年比3.9%増
引き続き中国マネーが世界の観光収入に貢献

(1) インバウンド(到着地側)の動向

世界観光機関(UNWTO)「Tourism Highlights」によると、16年における世界の国際観光客到着数(International Tourism Arrivals)は12億3,500万人回(前年比3.9%増)となり、過去最高を記録した(表II-1-32)。リーマン・ショック(08年)の影響による一時的な減少を除けば、2000年以降は増加基調を維持している。10年前と比較すると16年の同値はおよそ1.5倍に拡大した。

アジア太平洋地域への国際観光客到着数は3億840万人回(前年比8.6%増)となり、世界全体の25.0%を占めた。アジア太平

洋地域の中で最も国際観光客到着数の大きいエリアは北東アジアであり、世界全体の12.5%を占める。16年の対前年伸び率が最も高い到着地域はオセアニア(前年比9.4%増)であった。

国際観光客到着数を到着国・地域別に見ると、フランス、米国、スペイン、中国、イタリアの順で大きい(表II-1-34)。16年はタイが9位に浮上した。

16年の国際観光収入(International Tourism Receipts)は世界全体で1兆2,200億USDドル(前年比2.6%増)と推計される(表II-1-33)。東南アジアやオセアニアで前年比およそ10%程度増加した一方、北東アジアは微減となった。

国際観光収入を到着国・地域別に見ると、米国、スペイン、タイ、中国、フランスの順で高い(表II-1-35)。タイやオーストラリア、日本、韓国等で対前年伸び率(現地通貨基準)が10%を超えている。日本のランキングは前年の13位から11位へ上昇した。

表II-1-32 世界の国際観光客到着数(到着地域別)

	国際観光客到着数(百万人回)					シェア(%)	前年比(%)			
	2000	2005	2010	2015	2016		14/13	15/14	16/15	
世界全体	674	809	953	1,189	1,235	100.0	4.0	4.5	3.9	
到着地域	ヨーロッパ	386.6	453.2	489.0	603.7	616.2	49.9	1.7	4.8	2.1
	アジア太平洋	110.4	154.1	208.1	284.0	308.4	25.0	6.1	5.4	8.6
	北東アジア	58.3	85.9	111.5	142.1	154.3	12.5	7.3	4.3	8.6
	東南アジア	36.3	49.0	70.5	104.2	113.2	9.2	2.9	7.4	8.6
	オセアニア	9.6	10.9	11.4	14.3	15.6	1.3	6.1	7.6	9.4
	南アジア	6.1	8.3	14.7	23.4	25.3	2.0	12.9	2.3	7.8
	アメリカ	128.2	133.3	150.1	192.7	199.3	16.1	8.5	5.9	3.5
	アフリカ	26.2	34.8	50.4	53.4	57.8	4.7	0.6	△ 2.9	8.1
中東	22.4	33.7	55.4	55.6	53.6	4.3	8.7	0.6	△ 3.7	

(注) 2016年は暫定値

資料: UNWTO「Tourism Highlights」

表II-1-33 世界の国際観光収入(到着地域別)

	国際観光収入(10億USDドル)			シェア(%)	前年比(現地通貨基準)(%)			国際観光客到着数(百万人回)	1人当たり国際観光収入(USDドル/人回)
	2015	2016	2016		14/13	15/14	16/15		
世界全体	1,196	1,220	100.0	4.3	4.1	2.6	1,235	990	
到着地域	ヨーロッパ	449.6	447.3	36.7	4.4	2.7	0.9	616.2	730
	アジア太平洋	349.4	366.7	30.1	1.5	2.5	4.8	308.4	1,190
	北東アジア	167.1	168.9	13.9	△ 1.6	△ 3.7	△ 0.2	154.3	1,090
	東南アジア	108.5	117.2	9.6	2.1	8.0	9.8	113.2	1,030
	オセアニア	42.3	46.7	3.8	7.6	11.6	10.0	15.6	2,990
	南アジア	31.6	33.8	2.8	9.9	6.3	7.1	25.3	1,340
	アメリカ	305.6	313.2	25.7	6.7	8.2	2.7	199.3	1,570
	アフリカ	32.8	34.8	2.9	3.7	0.5	8.3	57.8	600
中東	58.2	57.6	4.7	10.2	7.4	△ 1.6	53.6	1,080	

(注) 2016年は暫定値

資料: UNWTO「Tourism Highlights」

(2) アウトバウンド(出発地側)の動向

次に、世界の国際観光支出(International Tourism Expenditure)の動向について、出発地の国・地域別に概観する。

国際観光支出の出発国・地域別ランキングを見ると、16年は前年に引き続き中国が2,611億USドルと最も高く、世界全体のおよそ2割を占めた。2位の米国とは2倍以上の開きがあり、世界の

国際観光収入への中国の貢献度は極めて高い。対前年伸び率(現地通貨基準)も11.7%増となっており、拡大基調を維持している(表II-1-36)。

一方、人口1人当たりの国際観光支出が高い国・地域は香港やオーストラリアであり、1,000USドル/人を超えている。中国の同値は189 USドル/人と低い。

(川口明子)

表II-1-34 国際観光客到着数ランキング(到着国・地域別)

順位	到着国・地域	国際観光客到着数(百万人回)				到着数調査方法
		前年比(%)				
		2015	2016	15/14	16/15	
1位	フランス	84.5	82.6	0.9	△2.2	TF
2位	米国	77.5	75.6	3.3	△2.4	TF
3位	スペイン	68.5	75.6	5.5	10.3	TF
4位	中国	56.9	59.3	2.3	4.2	TF
5位	イタリア	50.7	52.4	4.4	3.2	TF
6位	英国	34.4	35.8	5.6	4.0	TF
7位	ドイツ	35.0	35.6	6.0	1.7	TCE
8位	メキシコ	32.1	35.0	9.4	8.9	TF
9位	タイ	29.9	32.6	20.6	8.9	TF
10位	トルコ	39.5	—	△0.8	—	TF
(11位以下の主な北東アジアの国・地域)						
13位	香港	26.7	26.6	△3.9	△0.5	TF
16位	日本	19.7	24.0	47.1	21.8	VF
20位	韓国	13.2	17.2	△6.8	30.3	VF
31位	台湾	10.4	10.7	5.3	2.4	VF

(注) 2016年は暫定値 資料: UNWTO「Tourism Highlights」
 TF: 国境での調査(日帰りを除く)
 VF: 国境での調査(日帰りを含む)
 TCE: 公共的観光施設での調査

表II-1-35 国際観光収入ランキング(到着国・地域別)

順位	到着国・地域	国際観光収入(10億USドル)		シェア(%)	現地通貨基準前年比(%)		国際観光客到着数(百万人回)	1人当たり国際観光収入(USドル/人回)
		2015	2016		15/14	16/15		
		2016	2016		2016	2016		
1位	米国	205.4	205.9	16.9	7.0	0.3	75.6	—
2位	スペイン	56.5	60.3	4.9	3.8	7.1	75.6	800
3位	タイ	44.9	49.9	4.1	23.0	14.7	32.6	1,530
4位	中国	45.0	44.4	3.6	3.6	5.3	59.3	750
5位	フランス	44.9	42.5	3.5	△7.6	△5.1	82.6	510
6位	イタリア	39.4	40.2	3.3	3.8	2.3	52.4	770
7位	英国	45.5	39.6	3.2	5.2	△1.4	35.8	1,110
8位	ドイツ	36.9	37.4	3.1	2.0	1.7	35.6	1,050
9位	香港	36.2	32.9	2.7	△5.8	△9.0	26.6	1,240
10位	オーストラリア	28.9	32.4	2.7	10.2	13.5	8.3	3,900
(11位以下の主な北東アジアの国・地域)								
11位	日本	25.0	30.7	2.5	51.4	10.4	24.0	1,280
21位	韓国	15.2	17.2	1.4	△14.7	13.1	17.2	1,000
26位	台湾	14.4	13.4	1.1	△1.6	△7.0	10.7	1,250

(注) 2016年は暫定値 資料: UNWTO「Tourism Highlights」「World Tourism Barometer」
 シェアおよび観光客到着数1人当たり国際観光収入は(公財)日本交通公社算出

表II-1-36 国際観光支出ランキング(出発国・地域別)

順位	出発国・地域	国際観光支出(10億USドル)		シェア(%)	現地通貨基準前年比(%)		人口(百万人)	1人当たり国際観光支出(USドル/人)
		2015	2016		15/14	16/15		
		2016	2016		2016	2016		
1位	中国	249.8	261.1	21.4	11.4	11.7	1,383	189
2位	米国	114.7	123.6	10.1	8.6	7.8	323	382
3位	ドイツ	77.5	79.8	6.5	△0.6	3.2	83	964
4位	英国	63.3	63.6	5.2	8.8	13.8	66	970
5位	フランス	39.3	40.5	3.3	△3.5	3.3	65	627
6位	カナダ	30.1	29.1	2.4	1.3	0.0	36	802
7位	韓国	25.3	26.6	2.2	9.0	5.4	51	520
8位	イタリア	24.4	25.0	2.0	1.4	2.4	61	411
9位	オーストラリア	23.8	24.9	2.0	6.1	6.0	24	1,026
10位	香港	23.1	24.2	2.0	4.7	5.1	7	3,284
(11位以下の主な北東アジアの国・地域)								
—	日本	16.0	18.5	1.5	△5.3	4.0	127	146
—	台湾	15.5	16.6	1.4	10.8	6.9	24	692

(注) 2016年は暫定値 資料: UNWTO「Tourism Highlights」「World Tourism Barometer」